

食にフォーカスを当て、 学生に地域の「美味しい」を もっと知る・楽しむ・発信してもらおう



立命館大学 学びのコミュニティ 集団形成助成金 2019年度 採用団体「Yummy!」

活動目的

- 食から地域活性に貢献
- 学生の食育をサポート
#異文化理解 #健康管理 #安心安全



活動背景

- キャンパスがある地域とのつながりは「食」
- 茨木市や草津市、衣笠周辺には、まだまだ私たちを含め学生が知らないたくさんの魅力

アプローチ

インタビュー調査

- ランチストリートにおけるインタビュー
- キャンパス周辺におけるフィールドワーク

勉強会の参加と開催

- 勉強会や交流会などに積極的に参加し、活動を通じて学んだことを他の学生に還元
 - LINE DEVELOPER DAYの参加
 - 勉強会の開催



経験と課題

- OIC Idea-Lab. 採用による活動強化
- チーム開発におけるモチベーションの維持の難しさを学んだ

団体の特徴

- 理系学生×文系学生のメンバー構成
 - 多種多様なメンバーが協働し、技術開発やマーケティングなど、お互い強みを活かして活動目標に挑む
 - 学部1回生から大学院2回生の幅広いメンバー
 - 様々な学部および研究科から構成



iOS,Android,WEBアプリをリリース

- 多くの学生にとって使いやすいサービスを目指すため様々なプラットフォームを開発運用



アプリケーションの開発



立命生のための食アプリ
見つけよう。食の楽しさ



QRを読み込んでアクセス
または **yummy** で検索!

今後

- 学内やキャンパス周辺をもっと巻き込んで、より良いサービスを作っていきたい!
- 飲食店、企業との連携を検討

共同学びプロジェクト

どんな団体？

研究会やフィールドワーク、論文執筆などの活動を通して社会問題について学習することで、

メンバーそれぞれが主体的に学ぶ姿勢を身につけることを目的とした団体です

今年度の主な活動内容

9月沖縄フィールドワーク

基地問題について現地の人に

お話を伺ってきました！！



10月 討論会 IN 学園祭

沖縄FWについて学んだことについて

茨木市民の方と討論会を行いました。

10月～12月後期集団論文

安全をキーワードに遺伝子組み換え技術や労働について集団で論文を執筆し、他大学の団体と合同で発表会を行いました。

2月 もんじゅ見学

高速増殖炉もんじゅに見学行って来ました。見学を通して日本の原子力発電所に関する歴史や現在抱えている問題について学ぶことができました！！

今後の活動

より多様な価値観や視点を取り入れて研究会を行っていくため、外部の人との交流を積極的に増やしていくことを目指します！

IBVRVKI ソフトクリーム茨木ご当地プロジェクト IBVRVKI



どんな団体？

サッポロホールディングス株式会社、日世株式会社、立命館大学が、立命館大学大阪いばらきキャンパス開学を期に、茨木市のご当地ソフトクリームを作るプロジェクトです。ソフトクリームを通して、茨木市の活性化を目指したいと考えています。2019年度はソフトクリームの販売方法の模索を主なテーマとして活動しました。

どんなソフトクリーム？

このプロジェクトの代表的なものは「バニラホップソフト」です。ビールにも使われている“ホップ”という香料を使用しており、爽やかな香りが特徴です。イベント以外でもOICにあるカフェ、ガーデンテラスライオンで販売していただいています。また、アジアウィークでは橋本フーズ株式会社のアんを使用した「あんごソフト」も販売し、ご好評いただきました。



何をしているの？

◎イベントでのソフトクリーム販売

京都学生祭典で「バニラホップソフト」の販売を行いました。OICキャンパスで行われた「アジアウィーク」にて、生協さんの協力を得てソフトクリームを販売していただいています。

◎ソフトクリーム作り体験教室

茨木市の小学生を対象とした自主企画を行いました。子供たちにはソフトクリームを作る以外にクイズやゲーム、ポスター作りを楽しんでもらい、交流を深めてもらいました。



成果は？

前年度から始めた自主企画であるソフトクリーム作り体験教室を実施。地域の方々、子供たちに売り上げの一部を還元することができました。また、保健所の許可・キッチンカーの手配等のソフトクリーム販売に必要な過程の大部分を自ら行い、その方法や手順などの知識を得ることができました。

今後は？

去年に引き続き販売方法等を確立させて、活動機会の見直しを行う予定。